

## 環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4RA-2401
研究課題名	絶滅危惧種への応用を目指した鱗翅目昆虫の精子凍結保存と人工生殖技術の研究
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	奈良教育大学
研究代表者名	小長谷達郎

### 1. 評価結果

評価ランク：A

### 2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、絶滅危惧種の保全を目的とした人工授精技術の開発を目的としており、人工授精法の確立に向けて、各段階の手法が積み上げられつつある。人工受精機器を新たに開発したことは課題達成に向けた重要な成果であるが、口でくわえて操作するため、逆流防止装置など安全確保のためのさらなる工夫が必要である。学術分野やマスコミに向けた技術紹介も期待される。大型のカイコを用いた実験は妥当であり、今後小型種や飼育系が確立できている絶滅危惧種にも実験が広げられると、本研究の最終目標である「絶滅危惧種」への貢献の説得力が増すと考えられる。精子の凍結期間が解凍後の運動性に及ぼす影響を与えるなどの研究も必要であり、研究体制の効率化も検討する必要がある。